

## 市民公開講座

# “がんを生きる”を開催しました



**横浜市立市民病院 がんセンター市民公開講座**

### がんを生きる

平成29年3月4日(土)  
13:30～16:30  
(13:00開場) **参加無料**

**プログラム**

第1部  
生きている喜び～末期がんからの生還～  
俳優・タレント 小西 博之 氏

第2部  
最新のがん治療  
会場  
横浜市立市民病院 がんセンター1-6

**最新の肺がん治療**  
呼吸器内科医長 下川 恒生

**最新の腎臓がん治療**  
泌尿器科副医長 泉 浩司

**最新の大腸がん治療**  
消化器外科医長 藪野 太一

～プロセス～  
・13時開場 13:30開演  
・15時休憩  
・16時閉演 16:30閉会  
・16:30～17:00懇話会  
・17:00～17:30受付終了

＜お申込み方法＞  
はがき、電話、FAX、病院ホームページの申込みフォームでお申し込みください。  
申込書(氏名「ふりがな」、住所、電話番号、FAX番号( FAX申込みの方)、参加人数)  
定 員 450人 ※先着順  
締 切 平成29年2月24日(金) ※はがきは当日消印有効  
申込先: お問合せ 横浜市立市民病院がんセンター事務局  
〒240-0555 横浜市中区西区町1-6  
電話 045-331-1753 FAX 045-341-9781  
本講座は、平成29年度 日本医療研究開発機構 (AMED) 委託研究開発費の助成を受けています。

3月4日(土)に、横浜市開港記念会館にて、横浜市立市民病院がんセンター主催のがん啓発市民公開講座を開催しました。

### 【講演内容】

生きている喜び～末期がんからの生還～

俳優・タレント 小西 博之 氏

高齢者の肺がん治療

呼吸器内科医長 下川 恒生

最新の腎臓がん治療

泌尿器科副医長 泉 浩司

最新の大腸がん治療

消化器外科医長 藪野 太一

前半は俳優・タレントの小西博之氏による、自らのがん闘病体験を、そして後半は市民病院医師による最新のがん治療について講演が行われました。

当日は300名近い参加者がおり、講演者の言葉に熱心に耳をかたむけ、メモを取られる方が多くみられました。終了後のアンケートでは多くの方より「大変参考になった。」「また是非開催して欲しい。」などの言葉をいただきました。

市民病院では、市民の方を対象とした市民公開講座を定期的に行っています。ぜひご参加ください。

### 【 当日頂いたご質問に対し、以下にてご回答します 】

Q: 腎がんの疑いが有り、腎臓をひとつ取ってみたいと分からないとの診断がありました。他に分かる方法は無いのでしょうか。また腫瘍は今現在4cm。部分摘出か全摘出か自分で選べますか。

A: もっとも確実な診断は外科的切除ですが、場合によっては腎生検術という方法もあります。部分切摘出か全摘出かは大きさだけでなく、腫瘍の部位、腎機能、合併症等を含めて検討が必要です。

Q: 11月に膀胱がんを、12月に腎臓と尿管も摘出しました。転移が心配ですが、転移はあるものですか。また、摘出後も体の中にがん細胞は残っていないのでしょうか。

A: 転移がん細胞の残存の有無は、頂いた情報からだけでは判断が難しいので、担当医とご相談いただければと思います。